

令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%					○
算数	63.4%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%					○
情報の扱い方に関する事項	86.9%					○
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%					○
書くこと	68.4%					○
読むこと	70.7%					○

【考 察】

- 全ての領域で全国平均を上回りました。特に、漢字を文中で正しく書き直す問題では、全国平均を大きく上回っており、漢字コンクールなどの取組の成果として表れたと考えられます。
- 話すこと・聞くことの領域が、比較的正答率が低くなりました。特に、自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題の正答率が低かったため、授業の中で、相手に伝わる表現を意識して、文章を書いたり説明したりする機会を増やしていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%					○
図形	66.3%					○
変化と関係	51.7%					○
データの活用	61.8%					○

【考 察】

- 全ての領域で全国平均を上回りました。中でも、わる数が1/10になったときの商の大きさについて正しいものを選択する問題とわる数が小数の場合のわり算の計算問題が全国の平均正答率を大きく上回りました。日頃の授業における問題解決場面でしっかり話し合い理解を深めてきたことや、計算コンクールなどの取り組みで速く、正確に計算する力が向上したと考えられます。
- 問題場面の数量関係を捉え式に表す問題と、速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する問題で全国平均を下回りました。どちらも問題文から数量関係を正しく捉えるというところに課題が見られました。文章だけでなく図や数直線に表すなどして、数量関係を正しく捉えられるよう繰り返し取り組ませています。

**令和6年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	30.3	50.4	16.2	3.1
6	関辺小	28.6	66.7	4.8	0

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が肯定的な回答をしており、普段の授業や総合的な学習の時間において児童の主体的な学習を意識した授業づくりに取り組んできた成果だと考えられます。
- また、「5年生までの学習において課題の解決に向けて自分から取り組むことができた」、「タブレットで分からないことがあったときすぐに調べることができる」という質問においても全国平均を上回る結果となっており、自分で学ぶ方法を身に付けている結果が表れました。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
6	関辺小	4.8	14.3	61.9	9.5	9.5	0

(単位 %)

【考 察】

- 本校の約8割の児童が、高学年の家庭学習時間の目安である1時間を超えて家庭学習に取り組んでいることから、学年に応じた家庭学習の習慣化が図られていると考えられます。
- 1時間未満の児童については、家庭学習の計画の立て方についてアドバイスを行うなど家庭学習の時間を伸ばし、その質を向上させることができるよう指導していきます。また、望ましい自主学習の取り組み方についても、さらに指導していきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	31.9	48.9	16.0	3.1
	関 辺 小	42.9	47.6	9.5	0

(単位 %)

【考 察】

- 普段の授業において「40分+5分（習熟や振り返りの時間）」の取組を行っており、最後の5分間で授業で分かったことや分からなかったことを振り返ったり、練習問題を通しての習熟を行ったりしてきた成果と考えられます。
- 今後も、授業における振り返りの時間を確保して、分からないことはそのままにせず解決する姿勢を継続できるように指導をしていきます。

4 将来の夢や目標を持っていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	60.6	21.8	9.8	7.7
	関 辺 小	76.2	19.0	4.8	0

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」と回答した児童が全国平均を大きく上回る結果となりました。これまでの総合的な学習の時間での学習において、将来なりたい職業やそれを実現するためのプランをまとめる学習をはじめとした取組の成果と考えられます。
- また、「国語（算数も含む）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」の質問においても「当てはまる」と回答した児童が8割を超え全国平均を大きく上回り、普段の授業においても将来を意識している結果が表れました。今後も、学校生活の様々な場面において目標を設定する機会を設け、自分の成長を実感できるよう指導をしていきます。